

平成28年第1回定例市議会議案記者会見市長挨拶

今回の定例市議会におきましては、まず、平成27年度3月補正予算として、『一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策』に沿った必要経費が措置された国の平成27年度第1号補正予算に対しまして、平成28年度当初予算計上を予定していた事業を一部前倒すなど積極的に対応したところですが、その他は事業費の確定や決算見込による減額などにより、全体として2億9,419万4千円を減額補正した結果、補正後の予算総額は418億7,704万円となりました。

続きまして、平成28年度当初予算であります。予算編成に当たっての基本的な考え方は、政府の掲げる地方創生とともに、「安心づくり」、「元気づくり」、「未来づくり」、「連携と結集」の4つの柱により、「暮らし満足No.1」に向けた第一歩を踏み出す予算編成を行ったところであります。

具体的には、重点施策として、1つ目の「安心づくり」を推進していくため、医療・福祉の充実、高齢者の健康と活躍の場づくり、子育て環境づくりとして、合計特殊出生率2.0を目指し、新規に第二・第三保育所において実施する一時預かり事業に係る経費や夏休みや冬休みなど長期休業期間を対象とした放課後児童クラブの運営に係る経費、障がい者の自立支援、地域コミュニティの活性化、新規路線運行に伴うコミュニティバスの導入経費や運行経費、災害に強い安全なまちづくり対策に係る経費を計上しています。

次に、2つ目の「元気づくり」についてですが、企業誘致と地場産業の育成、6次産業化の推進など第一次産業の活性化、山国川上・下流域を結ぶ観光の一体的な取組みの振興、移住促進、商店街の活性化を推進するため、商店街が取組むイベント等に対する助成に係る経費や文化・スポーツの振興に係る経費などを計上しています。

次に、3つ目の「未来づくり」についてですが、教育のまちづくりとして、新規に山国の三郷小学校5・6年生を対象にした『山国通学合宿』に係る経費や小学校施設空調設備設置に係る経費、生涯学習とやりがいのあるまちづくりとして、高齢者が自らの教養と生きがい創出を目指す学習の場として開催する生涯学習教室開設に係る経費、また、インフラ整備においては、中津日田道路関連の八面山線道路改

良などに係る経費を計上しています。

最後に、4つ目の「連携と結集」では、「安心づくり」、「元気づくり」、「未来づくり」の3本柱に掲げる施策の実施にあたり、国・県との連携、大学、民間機関等との連携、近隣自治体と連携し取り組んでいきます。

この結果、一般会計の当初予算規模は、重点政策の実現及び将来の財政見込み、いわば「攻め」と「守り」の両面を考慮し、416億4,476万9千円（対前年度比0.8%の減）としたところであります。

以上が今回の予算概要ですが、詳細につきましては、関係部課長より説明させていただきますので宜しくお願いします。